

2022年9月29日

別子地区の新社員寮が完成

～ものづくりの中心的拠点で社員の成長と共創を促し、若手人材の育成・確保を推進～

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：野崎明）は、このたび別子地区（愛媛県新居浜市）において建設を進めていた新社員寮が完成しましたので、お知らせします。

新社員寮の敷地面積は24,627㎡で、3棟259戸の居住スペースや共用棟から成り、当社の社員寮としては最大規模となります。居住スペースではプライベート時間を快適にする空間を確保するとともに、共用棟では居住者同士のコミュニケーションや学びを促進するためのさまざまな仕掛けづくりを行っています。また、太陽光発電パネルや蓄電池の導入によってCO₂排出量低減にも寄与する設計になっています。

別子地区は当社最大の事業拠点として、主要な工場や研究所が多数立地する地区であり、まさに当社のもものづくりの中心的拠点として、「世界の非鉄リーダー」に向けた成長戦略の推進や若手人材の育成においても重要な位置付けを担っています。新社員寮は、当地区における人材確保への寄与と、次世代を担う人材の成長を後押しする象徴的施設として、活用してまいります。



【新社員寮外観】

社員の成長、共創を促進する共用スペース：

居住スペースは、プライベートの時間を快適に過ごせるよう配慮したワンルームマンション形式をとる一方で、社員同士のコミュニケーションを促進させる共用スペースも充実させました。人間関係を構築していく際の距離感が多様化していることに配慮しつつも、所属部署を超えた人脈構築、情報交換や議論を促すことを企図したもので、ローテーブルを配した「談話スペース」、シェアキッチンやダイニングテーブルを設置した「多目的スペース」、ベンチのある「ガーデンエリア」、ビジネス書や新聞の閲覧、集中して自己啓発が可能な「ライブラリースペース」などの施設を付設しました。さらには、車椅子対応の個室や入居者の家族が利用できるゲストルームなども設置しています。

縁あって別子地区において仕事をするようになった社員が、快適な生活を送りながらも、互いに良い刺激を与え合い、ビジネスパーソンとしての成長を促すための基幹インフラとして活用してまいります。



【多目的スペース】



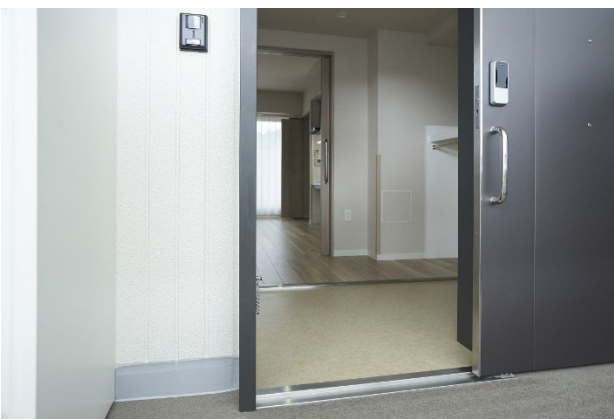
【ライブラリースペース】



【食堂】



【ビュッフェ形式で盛り付けを選べる食事】



【車椅子対応個室】



【ゲストルーム】

地球環境に配慮した設備対応：

太陽光発電システムや EV 充電スタンド等を設置することにより、CO₂排出量の低減に寄与してまいります。



【EV 充電スタンド】



【太陽光発電システム】

当社は、2021 年中期経営計画における具体的な取組みの一つとして「人材確保・育成・活用のための各種取り組みを推進し、人材への積極的な投資を実施」を掲げているとともに、「2030 年のありたい姿」においても、多様な人材の育成と活躍を重要課題としております。今後も、社員一人一人の力がより発揮され、より意欲的にかつ安心して働ける制度設計を進めてまいります。

【参考】

新社員寮 基本情報

建設地：	愛媛県新居浜市星越町乙 2021
敷地面積：	24,627 m ²
建築面積：	3,622 m ²
延床面積：	11,150 m ²
建築物：	住居棟：地上 6 階 2 棟、地上 3 階 1 棟、 管理棟：平屋
基本構造：	鉄骨 ALC 造
居室数：	259 戸（内、車椅子対応 3 戸、来客用 2 戸）
居室間取り：	1K タイプ、ミニキッチン、バス・トイレ付
駐車場：	270 台収容（EV 充電スタンド設置）
その他：	太陽光発電・蓄電池の設置

以 上

本件に関するお問合せ先

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 東京都港区新橋 5-11-3 新橋住友ビル

TEL : 03-3436-7705 Eメール : smm_koho@smm-g.com